

特集 II

マヌカハニー、プロポリス

ハチミツで口臭改善、歯磨き粉

などの応用例も

シクロケム

シクロケム(東京都中央区、〒103-5614・7147)は抗菌作用と、

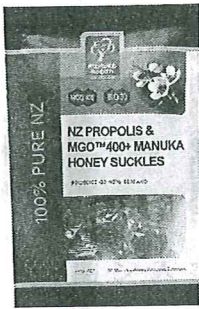
抗酸化作用を併せ持つニュージーランド産ハチミツ「マヌカハニー」を取り扱っている。

供給元はニュージーランドのマヌカヘルス(MH)社。

同品は口腔内の悪性細菌除去による虫歯と歯周病予防や、口臭の減少、また胃のピロリ菌除去や、腸内環境改善について効果が確認されている。さらに特有成分「シリング酸メチル」による

抗酸化作用が確認されていることも特徴的な素材。

昔から現地の原住民マオリ族が傷薬として使用していた歴史を持ち、現在はニュージーランドで食品のほか、創傷治療や口臭防止などの医薬品として使用されているなど、機能性は一定の評価がされていた。



抗菌作用の原因物質でマヌカハニーに含まれる抗菌成分「MGO」が発見されたのは昨年1月と最近の話で、ここから機能性研究が更に加速した。

新たなラインアップとして「マヌカハニーMGO 30」「マヌカオイル」の国内バルク供給も開始する。マヌカオイルは、歯周病菌に対しティーツリーオイルの3倍の抗菌力が確認されている。

これらにシクロケムの得意とするシクロロデキストリン包接加工による粉末化を行うことで、吸水性、安定性を高め商品開発の幅を広げていく。

関連会社のコサナではマヌカハニーとプロポリス「Bio30」を組み合わせた歯磨き粉とキャンディー(写真)を国内向けに発売開始する。プロポリスのくせのある味がマヌカハニーによりマイルドになっている。